



印西市

議会 だより

第172号

平成27年(2015年)5月

発行 千葉県印西市議会
編集 議会だより編集委員会
〒270-1396
千葉県印西市大森2364-2
TEL 0476-42-5111(代)
FAX 0476-42-5299
メールアドレス
gikai@city.inzai.lg.jp

新たな地域拠点に



平成27年
第1回
定例会

会期2月12日
～3月12日

牧の原小学校・学童保育・地域交流センター 同時オープン

目次

- P2** 平成27年度印西市
一般会計歳入歳出予算
予算審査常任委員会審査報告
- P3~7** 議員17人が市政を質す
一般質問
代表質問6人 個人質問11人
議会日誌
- P7** 議会日誌
- P8** 常任委員会の審査内容
- P9~10** 議案と審議結果一覧
- P10** 発議案・陳情
編集後記

平成26年度一般会計補正予算(第8号)・平成27年度一般会計補正予算(第1号)を議会が一部を修正し可決

第1回定例会に提案された平成26年度一般会計補正予算(第8号)1億8251万7000円のうち総務費972万円、平成27年度一般会計補正予算(第1号)8億6250万1000円のうち総務費7856万4000円を減額する修正案が議員より提出されました。この修正案は3月12日の本会議において賛成多数により可決しましたが、市長から、予算修正には異議があるとして、審議のやり直しを求め再議(※)が提出されました。

このため、あらためて採決した結果、先の議決のとおり決定されました。なお、修正部分以外の予算案については原案どおり可決されました。

※再議とは、議会が行った議決に対し異議がある場合等に、地方自治法に基づき市長が審議のやり直しを求めること。予算の再可決には特別多数決(出席議員の3分の2以上の賛成)が必要。

第1回定例会は会期29日間で開かれました。今定例会では条例の制定が2件、条例の廃止2件、条例の一部改正15件、平成26年度補正予算6件、平成27年度当初予算6件、平成27年度補正予算1件、その他6件の計38議案のほか、再議5件、報告3件、議員発議による発議案が9件、特別委員会調査報告1件が提出され、それぞれ慎重な審議が行われました。

なお、議案などの議決結果については、9ページから10ページにかけて掲載しています。

オリンピック関連予算を削除修正可決 ～平成26年度補正予算・平成27年度補正予算～

予算審査常任委員会審査報告

今定例会初日の2月12日に、予算審査常任委員会の委員が選任され、「平成26年度印西市各会計補正予算(第7号)」、「平成27年度印西市各会計当初予算」及び「平成27年度印西市水道事業会計当初予算」が付託されました。

その後、3月6日に「平成26年度印西市一般会計補正予算(第8号)」及び「平成27年度一般会計補正予算」が追加議案となり、併せて付託されました。

予算審査常任委員会では、活発かつ慎重な審査を行いました。

ここでは、審査における主な質疑及びその答弁について要約して掲載します。

〔審査結果〕

2月12日付託議案

- ◆平成26年度印西市一般会計補正予算(第7号) **〔可決〕**
- ◆平成26年度印西市国民健康保険特別会計補正予算 **〔可決〕**
- ◆平成26年度印西市下水道事業特別会計補正予算 **〔可決〕**
- ◆平成26年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算 **〔可決〕**
- ◆平成27年度印西市一般会計予算 **〔可決〕**
- ◆平成27年度印西市国民健康保険特別会計予算 **〔可決〕**
- ◆平成27年度印西市下水道事業特別会計予算 **〔可決〕**
- ◆平成27年度印西市介護保険特別会計予算 **〔可決〕**
- ◆平成27年度印西市後期高齢者医療特別会計予算 **〔可決〕**
- ◆平成27年度印西市水道事業会計予算 **〔可決〕**

平成26年度補正予算(第7号)

一般会計

質疑 被災農業者向け支援事業が繰り越した理由は、

答弁 昨年の大雪により損壊した農産物の生産に必要なハウス等の再建を支援する事業であるが、資材の入手困難や作業員不足等により、年度内に完了が見込めない農業者がいることによるものである。

〔討論〕

ありませんでした。

平成27年度当初予算

一般会計

質疑 社会保障・税番号制度導入のスケジュールは、

答弁 平成27年10月の個人番号・法人番号の通知、28年1月の番号カード交付に向けて、関係部署と協力体制を取り準備を進めている。併せて、制度の周知広報に努めていく。

特別会計

質疑 印旛高校跡地に関する下水道の整備工事の内容と工事費について伺う。

答弁 木下地区公共下水道整備工事で延長107m、工事費1868万4000円、木下・竹袋地区雨水排水整備工事で、延長253m、工事費1億9116万円を計上している。

〔討論〕

ありませんでした。

3月6日付託議案

- ◆平成26年度印西市一般会計補正予算(第8号) **〔否決〕**
- ◆平成27年度印西市一般会計補正予算(第1号) **〔否決〕**
- ◆平成26年度補正予算(第8号) **〔可決〕**
- ◆平成27年度補正予算(第1号) **〔可決〕**

質疑① 東京オリンピック

ク・パラリンピック誘致等推進に要する経費の事業内容は、
答弁 候補地に求められる要件に合致しているかを調査委託するための経費として約300万円、誘致を進めていくためのPR資料の作成業務経費として約600万円を計上している。
質疑② プレミアム付き商品券発行事業の制度設計について伺う。
答弁 プレミアム率を30%とし、1万3000円相当の商品券を1万円で販売する予定で、発行は3万8000部を予定している。

〔討論〕

反対、賛成ともに1名ずつありませんでした。

平成27年度補正予算(第1号)

質疑①

東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進に要する経費の事業内容は、

答弁 具体的な測量調査及び市有地にポートを保管する施設が必要となるため、ボーリング調査や地質調査等に要する経費を計上している。
質疑② 小学校施設整備改修事業において、空調設備の整備スケジュールを小中学校へ説明したのか。

答弁 小中学校への説明は校長会を通じて行っている。

〔討論〕

1名の賛成討論がありました。

本会議で修正可決

予算審査常任委員会で否決となりました「平成26年度一般会計補正予算(第8号)」、「平成27年度一般会計補正予算(第1号)」は、本会議において、議会が一部を修正し可決となりました。

その後、市長より再議が提出され、改めて採決した結果、修正可決された先の議決のとおり決定されました。本会議における討論を要約して掲載します。

平成26年度補正予算(第8号)

〔修正箇所〕

東京オリンピック・パラリンピック誘致等に要する経費972万円を削除

〔修正案に反対の討論・1名〕

● キャンプ地については大半の自治体が今から本格的に誘致を進めていく。まずは調査が必要で、そのために必要な予算である。印旛沼を有効活用し、将来的にはアスリートと市民の憩いの場にしていく、その前段階の利用としてオリンピックの競技場、キャンプ地とすることの計画が現段階から駄目だという事実が今はない。

〔修正案に賛成の討論・1名〕

● 議会や市民に対して十分な説明資料や計画書もなしに、オリンピック関連予算としていきなり補正予算を出すとは

いかなるものか。この補正の是非を判断する、何よりも重要なのは誘致実現の可能性であるが、市側の説明を聞く限りその可能性は全くないと思えない。予算は市民生活に直結した事業に使うべきである。

平成27年度補正予算(第1号)

〔修正箇所〕

東京オリンピック・パラリンピック誘致等に要する経費7856万4000円を削除

〔修正案に反対の討論・2名〕

● 反対するならば、しかるべき情報筋から情報をとった上で実現の可能性がないという根拠を示すべきである。我々は、国内の競技団体等と深い情報交換をしている。
● 修正案提出議員は具体的な信用のできる機関に調査をしていない。これでは印西市民は浮かばれない。

〔修正案に賛成の討論・2名〕

● この一大事業には議員への説明、市民への周知のうえ、共通認識のもとに十分な議論が必要である。時期尚早と言わざるを得ない。
● まずは近隣市との調整、県の担当部署とスクラムを組む状況をつくる必要がある。保等負担の分担等を早急に決め、確度を上げるべき。

一般質問

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに問うものです。

今定例会では、17人の議員による会派代表質問及び個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。ここでは紙面の関係でその一部を掲載いたします。

ここでの掲載記事は、各議員本人が作成したものを掲載しています。

なお、詳細な議事録の閲覧については、4頁下段を参照してください。

代表質問

東京オリンピック誘致 どのように関わるのか

「市民」山本清議員

質問1 学割定期の大幅値上げは回避されたものの、単発利用の切符、通勤定期が値上げされた。値上げの理由をたどると、「印西市が補助金を出さなかった」ということに行き着く。巨額の利益をあげているにもかかわらず、今年2月に実施された北総線の運賃値上げを、どう考えるか。北総鉄道にどう対応したのか。

市長 北総鉄道は13期連続で赤字が続き、長年の懸案だった債務超過が解消され、北総鉄道の自助努力での値下げは可能である、と考える。補助金は継続しない、という考えを一昨年12月に北総鉄道に伝えた。補助金を支出しないで、学割定期の水準を維持することができたことは一定の成果だ。しかし、2月10日、普通運賃、通勤定期の運賃が改訂された。今後、抗議することにはしたい。

質問1 二次救急及び入院施設に対する施策。①緑生会印西総合病院②印西平原クリニック③生和会(仮称)千葉ニュータウンリハビリテーション病院

市長 ①印西総合病院は昨年11月末に、入札を行い、病院の譲渡について、交渉中であると聞いている。②印西平原クリニックは、平成26年12月15日に印旛保健所に廃止届が提出されたと連絡があった。③平成28年4月の開業を目指し、年度内を目前に、土地を確保出来るようUR等関係機関と引き続き、交渉中であると聞いている。



質問2 市内の中学2校、滝野中学校と木刈中学校のブラスバンドが県大会を勝ち抜き、東関東コンクールに出場する、という快挙が昨年あった。これを受けて、平成27年度予算編成に何か変化があったか。市として、どう支えていくか。

市長 市をPRするよい機会、と考えている。誘致活動に向けた態勢を早急に整えていきたい。

質問3 オリピックのポルト、カヌーの競技場、事前キャンプ地として、印旛沼が注目を集めつつある。誘致に、印西市はどのように関わっていくのか。

市長 市をPRするよい機会、と考えている。誘致活動に向けた態勢を早急に整えていきたい。

質問4 市内の横断歩道が各地で消えており、子どもをはじめとする市民が危険にさらされている。横断歩道の改修で、目立った成果はあるか。

市長 千葉県警に働きかけをした結果、平成26年度の動きとしては、前年度に要望した21カ所のうち、15カ所の横断歩道の補修が完了した。

質問3 ごみの減量にはリサイクル率のアップが特に重要だが、板倉市長が就任してからはほとんど変わっていないのではないかと。リサイクル率の近年の傾向を伺う。

市長 本市のごみのリサイクルの状況は、平成24年度の資源物回収量、約6251トン、リサイクル率は約20・7%、平成25年度の資源物回収量、約6305トン、リサイクル率は約20・6%で、ほぼ横ばいとなっている。

質問2 北総線の運賃問題

市長 2020年のオリピックのときに、成田、都心は一つの契機を迎えるので、その際に運賃値下げを提案してはどうか。

市長 外国人の利用も増えるため、運賃値下げに努力したい。

質問1 介護保険や国民健康保険の特別会計の財政見通しはどうか。

市長 成田市とも話をしてみたい。

質問3 2020年のオリピックのときに、成田、都心は一つの契機を迎えるので、その際に運賃値下げを提案してはどうか。

市長 外国人の利用も増えるため、運賃値下げに努力したい。

健康福祉部長 給付実績を精査し、サービスに見合った保険料を算定しなければならぬ宿命であるが、10年後も考慮しつつ、保険料を抑えることが出来るよう、また、介護予防に力を注ぎ、健全財政に努めたい。

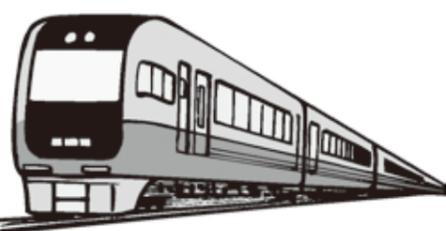
質問2 地に足をつけた議論として、既存の体育館等へ誘致の考えはないか。

答弁 総合的に考えながら、印旛沼ばかりでなく、そのようなことも考えてみたい。

その他の質問
○当初予算
○次期中間処理施設建設に関する反対意見
○印旛支所跡地の産業廃棄物問題



市長 本市のごみのリサイクルの状況は、平成24年度の資源物回収量、約6251トン、リサイクル率は約20・7%、平成25年度の資源物回収量、約6305トン、リサイクル率は約20・6%で、ほぼ横ばいとなっている。



市長 2020年のオリピックのときに、成田、都心は一つの契機を迎えるので、その際に運賃値下げを提案してはどうか。

市長 外国人の利用も増えるため、運賃値下げに努力したい。

その他の質問
○当初予算
○次期中間処理施設建設に関する反対意見
○印旛支所跡地の産業廃棄物問題

代表質問

平成27年度予算と主要施策

「昴(すばる)」松本多一郎議員

質問1 平成27年度各部の主要事業と予算について。

市長 総務部では地域防災計画の改訂、災害時における水源確保のため指定避難所への災害用井戸整備事業等7事業、1億9600万円を計上。企画財政部では木下・小林駅周辺の地域活性化の推進に要する経費、ふれあいバス実証実験ルートの本格運行の実施や路線バス運行対策事業等4事業1億5600万円を計上。市民部では街頭防犯カメラの設置、竹袋・滝地区等の集会所整備事業等4事業で2億2000万円を計上。環境経済部では動植物の生息・生育状況等自然環境調査の実施、ごみ減量化に向けて3R推進事業、鳥獣被害対策事業等13事業4億6600万円を計上。健康福祉部では民間保育園の助成や学童クラブの整備、障害者サポートセンター整備事業等12事業25億2300万円計上。都市建設部では小林駅南口駅前広場整備事業、市道松崎・吉田線や市道00-026号線の道路新設



- ◆その他の質問
- クリーンセンターの課題
- 医療・介護施設の課題
- 印西市の農業振興策(6次産業化に向けて・農産物の給食への利用)

改良事業等9事業で18億2600万円計上。教育部では外国語指導員の増員等による国際理解推進事業、学校給食センター整備事業等11事業21億8000万円を計上。以上、全60事業75億7200万円を計上。

質問2 道路問題、コスモス通りの進捗状況を伺う。
市長 国道356号から市道00-1107号線の印西中学校地先を先行整備区間として整備を進めている。用地取得率は99.9%である。

質問3 市道00-1107号線印西中学校通りの今後の拡幅予定は。
都市建設部長 平成27年度から測量設計業務を行い、29年度に用地取得、30年度に工事を実施する予定である。

質問4 県道日井印西線と市道00-1107号線別所四ツ又交差点の改良予定を伺う。
答弁 変則的な形状となっているが、県と調整しながら進めていく。

代表質問

プレミアム商品券を発行し、景気的好循環を

「北総志政会」中澤俊介議員

質問 昨年末、経済的好循環を確かなものとし、地方に経済成長の成果が広く行き渡るようにするため、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」が取りまとめられた。その目玉である、地域消費喚起・生活支援型の交付金で、印西市へ約1億円の配分があったと聞くが、地方創生という観点から、本市の見解を伺う。

市長 国において、平成26年度補正予算により、地方の活性化を促進することを目的とした、地域住民生活等緊急支援のための交付金が創設された。現在、地域消費喚起・生活支援型により消費喚起効果の高い「プレミアム付き商品券」の発行を検討している。

環境経済部長 標準的なプレミアム付き商品券は、プレミアム率が10%から20%といわれている。現在、具体的な制度設計をしている状況であり、他自治体と比較し遜色のないような形で実施したい。
質問 大型量販店のひとり勝ちにならないように、すべての取扱店舗で利用できる共通券と、中小店舗のみ利用できる専用券を発行してはどうか。
答弁 提案の内容を検討する。



質問 直接的・間接的な経済波及効果の試算はどうか。
答弁 現時点で、具体的な試算をすることは難しいが、プレミアム商品券の利用をきっかけに、新たな消費に結びつくことを期待している。なお、本事業の検証のため、利用者へのアンケート調査の実施を予定している。
質問 商工会をはじめ、関係団体と連携はどうか。
答弁 市内事業者には、プレミアム商品券が利用できる店舗として、参加していただくことが重要であり、市商工会をはじめ、関係団体と幅広く連携を図り進めたい。

質問 地域経済の活性化や地元消費の観点から、商品券のプレミアム率を30%にし、消費喚起を促進すべきと考えますが、その概要はどうか。
質問 商工会をはじめ、関係団体と連携はどうか。
答弁 市内事業者には、プレミアム商品券が利用できる店舗として、参加していただくことが重要であり、市商工会をはじめ、関係団体と幅広く連携を図り進めたい。

代表質問

学校の防犯対策をどうするのか

「新政」軍司俊紀議員

質問1 学校の安全・安心について、どう考えているのか。
教育長 何らかの話合いは必要と考えている。

質問2 保育環境の充実に
ついて平成28年度の保育園の新規開園予定はあるのか。
健康福祉部長 平成28年度については、千葉ニュータウン中央駅周辺において、特に保育需要が高まっていることから、千葉ニュータウン中央駅の南地区に定員80名規模の認可保育園2園の新設を目指し、現在協議を進めているところである。



- ◆その他の質問
- まち・ひと・しごと創生と印西市
- 北総線の運賃問題
- 医療体制の整備
- 木下駅圏の活性化
- 牧の原駅圏の将来(アクセス特急・郵便局・交通問題)

質問 門扉やフェンスのない、いには野小学校や滝野小学校の今後の防犯対策についてどのように考えているのか。
教育部長 いには野小学校や滝野小学校については、開校時の考え方として地域との一体感を重視するため門扉等により仕切られていない状況である。このような状況も踏まえ、学校と協議しながら、防犯対策に取り組むたいと考えている。
質問 地域との話し合いに
答弁 児童が増加している学童クラブでは、若干待機児童が見込まれている。また、民設民営についても学童クラブの開所を検討していく。

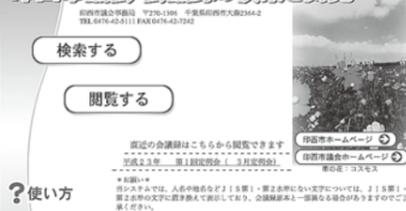
会議録がインターネットで閲覧できます。

ホームページアドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/inzai/inzai.html>

市議会だよりに掲載の審議内容や一般質問は、紙面の都合により要約しております。今までの会議録による閲覧に加え、インターネットによる閲覧ができますので、ぜひご覧ください。なお、従前どおり、会議録は次の場所で閲覧できます。第1回定例会の会議録は、6月上旬頃閲覧開始予定です。

- ◇議会事務局(市役所5階)
- ◇行政資料コーナー(市役所1階)
- ◇支所(印旛・本埜)
- ◇市内図書館6館(大森、小林、小倉台、そうふけ、印旛、本埜)

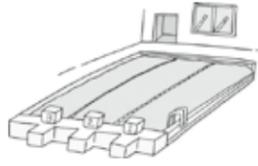
印西市議会 会議録の検索と閲覧



個人質問

真摯な答弁に感謝し 印西の将来は後進に託す

上條 公司議員



鹿黒地区を中心に投資額1000億円、雇用人口一万人超という巨大プロジェクトがスタートし、経済構造、環境とも劇的に変わろうとしている。印西市では予想もしなかったことである。新しい時代に対応した十カ年新

総合計画を策定した方が適切ではないか。
市長 様々な分野への影響は非常に大

きいと考える。環境変化を踏まえた中期的な状況として、柔軟に対応したい。

一般会計と特別会計を併せて約500億円の当初予算であるが、新しい経費、投資的経費の増加は何か。

企画財政部長 新規事業として、生活困窮者自立支援事業や農地中間管理事業など。投資的経費としては印旛高校跡地活用、学校給食センター整備、民間保育園の施設整備等、全体で約53億円を計上した。

教育長 築30年以上が16校。年々プールの修繕工事は増加。ご提案の水泳の授業のあり方を検討したい。尚、統廃合を速やかに検討する学校は小学校8校、中学校1校で今後検討する学校は現在9校になる。

質問3 全国の市町村は国から公有財産総合管理計画の策定を求められている。前回、公共建築物、インフラについて問うた。他の構造物のうち示されなかった小・中学校のプールの現状について、維持管理費が膨大となるなら小・中学校の統廃合も考慮し、全天候型の市民プールを考えてみてはどうか。他に統廃合考慮校の現状を問う。

質問2 一般会計と特別会計を併せて約500億円の当初予算であるが、新しい経費、投資的経費の増加は何か。

市長 様々な分野への影響は非常に大

個人質問

教育の充実について

岩崎 成子議員



質問1 交通不便地域解消に向けて実施する施策について伺う。

企画財政部長 ふれあいバス印旛支所ルートについては、平成27年10月1日より運行本数を6便から8便に増便するとともに、始発時刻の繰

り上げや最終便の繰下げを行う。また、六合路線についても、27年4月1日より、始発便の変更やバス停留所を2箇所増設する。現行運賃600円となっている一部区間を値下げし、一律300円に改定する予定。

質問2 印西市の将来を担う、児童生徒への教育備品・教育環境を整備していくためには、教育の充実への財源確保が必要であると思うが、市長の見解は。

市長 教育は、最も大事であると認識している。教育にかける財源については、できるだけ確保していく。

市長 高齢化が一段と進む

- ◆その他の質問
- 地域福祉の推進
- 市道山田・平賀線
- 大型車両の通行問題
- 他

個人質問

次世代へ贈る日本一を 実感できるまち

酢崎 義行議員



環境白書の中から、師戸川のBOD濃度(※)が平成23年、24年と2年連続で環境基準を超えている。また、年毎に増える傾向にある。原因究明と対応策は。

環境経済部長 師戸川の水質検査は上流部の草深ふれあいの里の南側で、水深が40〜50cm程度で川幅が狭くなつた地点で実施している。この周辺では、

毎年人口も増加し、合併処理浄化槽の設置基数も増加しており、それ以外も含めたいろいろな環境の変化により師戸川への高負荷化に、つながっているのではと推測している。今年度、県と共同で調査を実施しているが、原因究明には至っていない。

質問 平成25年の測定結果はどうなっているか。
答弁 BOD濃度でいうと平成25年度は、4回の検査結果で7・2ミリグラムパーリットルである。

質問 この結果は環境基準の2倍を超えている数値だ。平成25年度までの増加傾向を見て、何らかの対応が必要ではないか。
答弁 環境基準を超えていることは、十分認識している。今後も、監視するとともに継続検査を実施していく。

※生物化学的酸素要求量：水中の有機物などの量を酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量。単位はmg/lと略される。

- ◆その他の質問
- 印旛中央土地区画整理事業
- 交通空白地帯の解消策
- 地籍調査事業の着手

個人質問

市内道路の進捗状況 生態系・NPO法人など

大塚 輝男議員



特定外来種のカミツキガメ

質問1 市道(本埜地区の竜腹寺線、他3路線)の進捗状況について。

市長 竜腹寺線については、平成24年度に設計の見直しが必要となり、順次、見直し

し作業を進めている。26年度の実績は工事用道路の検討をした。27年度は、橋梁の建設に伴い、改修等の必要が生じる排水路及び市道の測量等を予定している。市道101号線(中田切ト杭線)は平成26年度、県道との用地取得ができたことから、27年度の完成を目標に事業を進めていく。市道103号線(笠神・新田道)、角田線の一部においては、新市基本計画で示された路線道路であるので、財源の確保等の事情により、着

手していく予定である。

質問2 印西市の生態系(動植物)を守っていくために、市内の特定外来種の確認しているか。
市長 植物では、ナガエツルノゲイトウ、アレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギク等の5種類、動物はアライグマ、カミツキガメ、ウシガエル、チャネルキヤットフィッシュ、カダヤシ、ブルーギル、オオクチバスの7種類が確認される。

質問3 市内のNPO法人の活動状況はどうか。
市民部長 NPO法人の支援は、市民活動支援センターで行っており、42団体が認証を受けている。

「いんざい市議会だより」の1面に掲載する写真を募集しています。

【題材】 印西市の四季折々の風景
【応募資格】 市内在住、在勤または在学の方
詳細については議会事務局までお問い合わせください。

《議会を傍聴してみませんか》

次の定例会は、6月4日(木)～6月25日(木)の会期予定です。開会は午前10時からとなりますので、5階議場にお越しください。なお、都合により変更になる場合もあります。詳細については、お尋ねください。



企業誘致について

國嶋 久善 議員

質問1 物流大手2社の概要はどうか。

市長 最新鋭のマルチテナント型物流施設を含む総合的なビジネスパークとして、竣工



工価値は総額1000億円を超え、計画で、プロジェクトの第一弾としてグッドマンビジネスパーク

葉イーストが計画されている。約5・9ヘクタールの敷地に地上4階建て、延べ床面積13万3000㎡の大型施設として計画され既に着工している。プロロジスパーク千葉ニュータウンは約5・5ヘクタールの敷地に地上5階建て、延べ床面積が約12万8000㎡の大型施設として計画され、既に着工するものである。

質問 雇用についてはどれ位見込めるのか。

環境経済部長 全体での雇用の創出については1万人を超える可能性があるとのこと、また、グッドマンビジネスパーク千葉イーストについては、規模を踏まえると1000人〜2000人程度の雇用が期待されることだ。プロロジスパーク千葉ニュータウンについて事業者が確認したところ、本施設の規模を踏まえると、700人〜1000人程度の雇用が期待されることだ。

◆その他の質問

- 北総線問題
- 病院問題
- クリーンセンター

個人質問

ニュータウン事業の総括・防災井戸の整備は

松尾 榮子 議員

質問1 千葉ニュータウン事業は印西市が人口2万人弱の町から10万人規模の市へと飛躍をとげる契機となった一大事業。①変化と②課題は。

市長 ①昭和42年10月1日時点の旧印西市の人口は1万6709人、旧印旛村は7533人、旧本埜村は4954人で合計2万9196人。現在の市人口は26年10月1日時点で9万3758人であり約6万5000人増加している。

都市建設部長 ②印西市域では平成27年1月末で約2

41ヘクタールの未処分地があり、この早期処分が大きな課題である。

質問 同事業が目指した北総の中核都市づくりはこれから印西市が引き継ぎ、住み働き、学び、憩う多機能自立都市、保健所や国・県機関、大学等が当然のように立地する魅力的な都市の完成を目指していくべきではないか。

◆その他の質問

- 成田スカイアクセス沿線用地メガソーラー事業
- 「いいの湯」の再開、他

個人質問

がんに負けない 印西市の実現を

浅沼 美弥子 議員

質問1 ①ピロリ菌対策事業を取り入れる考えはないか。②がん患者やその家族に



に対する支援策についての考え。③関係機関と連携し子どもたちへの本格的ながん教育を推進する考えはないか。

健康福祉部長 ①ピロリ菌検査を実施することはその効果や不利益も含め今後検証が必要であるとされている状況だ。国の動向を注視しつつ、保健師等による健康相談や健康教育を通して正しい知識の普及啓発に努めていきたい。

②情報提供や相談を通じた支援が必要であると認識している。幅広い情報が得られるようにがん診療拠点病院内の相談支援センター等相談機関の情報提供についても周知していきたい。③中学校において学校医その他の医療機関からの情報を得ながら、「がん」に対する正しい知識や将来の受診についての啓発に関する内容を盛り込んだ「がん」についての教育を行っていく。

◆その他の質問

- 予防接種助成事業の拡充(口タ・肺炎球菌)
- 水道事業拡張

個人質問

積極的な農業政策に取り組み

小川 勇 議員

質問 農業問題について①300億円事業の国営印旛沼二期事業が本格的に始まるが、市はどの程度関わっているのか。②農地の集積を進める制度について、市は積極的

に取り組みべきと考えるがどうか。③印西市の立地を生か



した農産物の販売等の政策が必要と考えるがどうか。

環境経済部長 ①国営印旛沼二期事業は4市2町にまたがり、全体受益面積が5002ヘクタールにおよぶ国営かんがい排水事業である。印西市の受益面積は全体の約50%を占めている。市としても農業の効率化や生産性の向上を図るため、国営事業等の土地改良事業を促進し農業生産基盤の充実を図っていく。②平成26年度より新たな制度として農地中間管理事業は始まっ

た。市は農地中間管理機構から事務の一部について委託を受け、窓口業務や周知活動等を行っている。26年度の実績として、農地の出し手で3経営体から申し込みがあり、貸付希望面積約3・5ヘクタール、農地の受け手では9経営体の申し込みがあり、借り受け希望面積175ヘクタールである。これらの農地配分等について進めている。③地元農産物の消費拡大については、市としても市内農産物のPR活動への支援など地産地消を推進している。引き続き、消耗農産物の消費拡大に向けた取り組みを進めていくため、関係団体と連携を図っていく。

お知らせ

請願・陳情の提出はお早めに

請願・陳情書はいつでも提出できますが、定例会ごとに提出期限をもうけ、審議を行っています。提出期限については、議会事務局にお問い合わせください。

一般質問の閲覧

平成27年第2回定例会(6月議会)で予定されている一般質問(個人)の内容は、6月3日(水)以降ホームページで閲覧できます。

個人質問

住みよさは「バランス」が大切

雨宮弘明議員

質問1 印西市は住みよさを、安心度、利便度、快適度、富裕度、居住水準充実度の5つのジャンルから評価し、それらの合計から全国800近い市の順位づけをしたもので、それぞれ3つ、合計15の指標から評価している。

企画財政部長

市の住みよ

さを、安心度、利便度、快適度、富裕度、居住水準充実度の5つのジャンルから評価し、それらの合計から全国800近い市の順位づけをしたもので、それぞれ3つ、合計15の指標から評価している。

質問2 印西市のそれぞれの順位は何か。

企画財政部長 安心度は629位、利便度5位、快適度6位、富裕度42位、居住水準充実度85位となっている。

質問3 私の出身地の山口県は住みよさ日本一の県づく

りを行なっているが、その目的を、「生活のあらゆる面でバランスの取れた住みよさを創造し実感できること」と定めている。そして、評価する指標が57と多く、うち42指標については目標値を設定し、それに近づく施策、努力をしている。市長は印西市の住みよさの評価についてどのような考えを持っているか。

市長 本当の意味の、みんなが住みよいいと言える実感を持てるのが大切と考える。

◆その他の質問

○北総線の運賃問題

○公共施設の偏在

○市の広報体制

個人質問

いこいの湯の再開をいつまで待てばいいのか

山田喜代子議員

質問1 いこいの湯の再開を。市民は汗水流して署名(3425筆)を集め、議会への請願、市長への要望、市長への手紙と、あらゆる手段を使って再開を訴えてきた。毎

議会、傍聴に来られる。懇話会では、市長は市民に、「3月まで待って。」と答えている。いつ使えるのか。

市長 3月まで待ってと、私は言った。私も心苦しい。これは必ずやるので、もうしばらくの間待つてほしい。出来るだけ、早くやる。

質問2 特別支援学級介助員の賃金アップを併せて非常勤職員の賃金単価の見直しを。介助員は給食の時間も介助し、授業も教科により支援学級から通常学級に入る時

も、後ろか隣に座り見守っている。耳の不自由な子には筆記をしたり、けがや事故の無いよう、気を配り、成長の手助けをしている。休憩すら取れずに働いている。そういう実態の中、時給を下げるべきでは無い。むしろ上げるべき。

教育長 私も学校現場にいたので介助員、指導員の重要性、仕事の大変さは重々認識している。内容も大変厳しい状況であると認識している。

市長 研究してみたい。

◆その他の質問

○店舗リフォーム事業

○郵便局設置と特急の停車を

○いんざい正直ニュース

○市営住宅の管理

議会日誌

2月

- 2(月) 印西地区衛生組合議会定例会
- 4(水) 印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会
- 5(木) 印西地区環境整備事業組合議会定例会
- 6(金) 議会運営委員会
政務活動費等調査特別委員会
長門川水道企業団議会定例会
- 9(月) 印西地区消防組合議会定例会
- 10(火) 議会運営委員会
印旛郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 12(木) 平成27年第1回定例会(～3月12日)
議会運営委員会
会派代表者会議
予算審査常任委員会
議会だより編集委員会
- 20(金) 全員協議会
- 23(月) 予算審査常任委員会(～27日)

3月

- 2(月) 文教福祉常任委員会
- 3(火) 全員協議会
議会運営委員会
総務企画常任委員会
- 4(水) 建設経済常任委員会
- 6(金) 予算審査常任委員会
- 9(月) 予算審査常任委員会
- 11(水) 議会運営委員会
- 12(木) 議会運営委員会
- 13(金) 議会運営委員会
- 27(金) 印旛郡市広域市町村圏事務組合議会臨時会

4月

- 14(火) 千葉県市議会議長会定例総会
- 15(水) 議会だより編集委員会

個人質問

千葉電ヶ崎線事情 「いこいの湯」再開はいつ

海老原作一議員

質問1 県道千葉電ヶ崎線の交通量の認識はどうか。

市長 平成22年度の道路交通センサスによれば千葉電ヶ崎線船尾地先の平日12時間交通量は約1万1000台、国道464号の交通量は約2万4800台で平成17年度に比べ横ばいである。

質問2 ビジネスパークの開発進捗による道路行政の考え方に変更はあるか。

答弁 グッドマンビジネスパーク千葉全体で1日約4000～5000台と聞いています。施設系の土地活用を許容する道路ネットワークを構築しているが、周辺道路の早期完成により交通量の分散処理を考えている。

健康福祉部長 施設確認等を行っている。平成27年度予算では緊急度を勘案し、総合福祉センターの屋上防水改修と中央監視システム更新工事予算を計上している。

質問 総合福祉センター利用者数の急減をどう考えるか。

市長 いこいの湯の閉鎖が原因であると認識し、反省している。調査が終わり次第、早めの再開に努めたい。

質問 補正予算により決断してはどうか。

答弁 できるだけ前向きに早期にやってみよう。



質問3 市長は平成26年第3回定例会で予算編成に向け、「いこいの湯」再開を求める請願を重く受け止め、期

待に添うべく努力したいと答弁しているが結果について伺う。

千葉県知事より 「棄却」の裁定

平成26年12月定例会において可決となった、雨宮弘明議員に対する3件の懲罰動議に対し、違法であるとして市長が地方自治法の規定により提出した再議第26-2号の議決結果(先の議決のとおり決定)について、市長が千葉県知事

にこの議決の取消しを求めて審査申し立てたことについて、平成27年3月27日、千葉県知事は、本件審査申立てを「棄却」としました。

各常任委員会の審査

一部の議案について、所管の常任委員会に付託し、審査を行いました。3月2日に文教福祉常任委員会、3日に総務企画常任委員会、4日に建設経済常任委員会をそれぞれ開催しました。

ここでは、紙面の関係により、委員会で行われた主な議案と審査内容の概要を掲載します。

特別顧問制度はひと区切り

総務企画常任委員会

【印西市特別顧問設置条例を廃止する条例の制定】

【審査結果】

【内容】合併後約5年が経過し、設置の目的である合併後の印西市の一体化は概ね達成されたと考え、また、新たな特別顧問を委嘱する予定もないことから、本条例を廃止するもの。

●印西市特別顧問設置条例を廃止する条例の制定について **〈可決〉**

【質疑】特別顧問制度は合併に伴って設置されたが、今後の見直しはどうか。

●印西市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

【質疑】特別顧問は、合併に伴い、速やかな一本化を図り、その地域の実情等について助言をいただこうという趣旨で設けられたもので、このような事情がなければ、委嘱の予定はない。

●特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

【質疑】特別顧問は、合併に伴い、速やかな一本化を図り、その地域の実情等について助言をいただこうという趣旨で設けられたもので、このよう

●特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

な事情がなければ、委嘱の予定はない。

●職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 **〈可決〉**



ニュータウン地区の30路線を認定

建設経済常任委員会

【道路線の認定】

【内容】30路線の市道認定

【質疑】ニュータウン区域内で今まで認定した道路の割合は、全体の何%か。

ではないが、それを引き継いだ場合には88・7%が完了していることになる。

【答弁】ニュータウン区域内の道路については、計画道路の延長が145・4キロメートルで、平成25年度末で、引き継ぎ済みが112・8キロメートル、77・8%である。

●印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定 **〈可決〉**

26年度については工事の完了予定延長が12・5キロメートルであり、全て引き継ぐわけ

●印西市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 **〈可決〉**

【審査結果】

●印西市道路線の認定 **〈可決〉**



学校の適正配置検討はじまる

文教福祉常任委員会

【印西市学校適正配置審議会設置条例】

【内容】本市における小・中学校の状況は、小規模化と大規模化が同時に進行しており、今後も児童生徒数や学級数の差が拡大することが予測される。このような状況を踏まえ、児童生徒のより良い教育環境を整えるため、小・中学校の適正な配置について調査及び審議する機関として、審議会を設置する条例を制定するもの。

【質疑】審議会が設置された後のスケジュール及び審議会委員の構成はどうなっているのか。

【答弁】本条例の承認後、出来るだけ早く委員等の調整を行う。審議会は早い時期に1回目を開催し、1年を目途に審議していく予定である。

【質疑】審議会の開催及び審議過程について、情報提供の在り方についてどう考えているのか。

【答弁】情報をタイムリーに出していくことと、審議の過程も含めてお知らせしていく。また、事務局としても委員へ地域との情報コミュニケーションについて提案していきたいと考えている。

【質疑】審議会の開催及び審議過程について、情報提供の在り方についてどう考えているのか。

【答弁】情報を含めてお知らせしていく。また、事務局としても委員へ地域との情報コミュニケーションについて提案していきたいと考えている。

【質疑】審議会の開催及び審議過程について、情報提供の在り方についてどう考えているのか。

【答弁】情報を含めてお知らせしていく。また、事務局としても委員へ地域との情報コミュニケーションについて提案していきたいと考えている。

【質疑】審議会の開催及び審議過程について、情報提供の在り方についてどう考えているのか。

【答弁】情報を含めてお知らせしていく。また、事務局としても委員へ地域との情報コミュニケーションについて提案していきたいと考えている。

【質疑】審議会の開催及び審議過程について、情報提供の在り方についてどう考えているのか。

【答弁】情報を含めてお知らせしていく。また、事務局としても委員へ地域との情報コミュニケーションについて提案していきたいと考えている。



【審査結果】

●印西市学校適正配置審議会設置条例の制定について **〈可決〉**

●印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

●印西市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

●印西市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

●印西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

●印西市子ども発達センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について **〈可決〉**

●印西市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について **〈可決〉**

平成27年第1回定例会 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥
 ※議長(渡邊正一)は採決に加わりません。(再議27-4、再議27-5を除く)

番号	件名	議決結果	浅沼美弥子	雨宮弘明	岩崎成子	海老原作一	大塚輝男	小川勇	國嶋久善	近藤瑞枝	酢崎義行	中澤俊介	橋本和治	藤代武雄	松尾榮子	山本清	上條公司	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	松本多一郎	小川義人	渡邊正一	
《 議 案 》 (市長提出議案)																									
議案1	印西市学校適正配置審議会設置条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案2	印西市特別顧問設置条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案3	印西市行政手続き条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案4	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案5	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案6	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案7	印西市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案8	印西市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案9	印西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案10	印西市立子ども発達センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案11	印西市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案12	印西市立保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案13	印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案14	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案15	印西市立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案16	印西市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案17	平成26年度印西市一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案18	平成26年度印西市国民健康保険特別改正補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案19	平成26年度印西市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案20	平成26年度印西市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案21	平成26年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案22	平成27年度印西市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案23	平成27年度印西市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案24	平成27年度印西市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案25	平成27年度印西市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案26	平成27年度印西市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案27	平成27年度印西市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案28	印西市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案29	印西市道路線の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案30	印旛郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案31	印旛郡市広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分に関する協議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案32	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案33	印西市まち・ひと・しごと創生推進審議会設置条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34	印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	欠	×	×	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	
議案35	平成26年度印西市一般会計補正予算(第8号)	修正可決	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案36	平成27年度印西市一般会計補正予算(第1号)	修正可決	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案37	あっせんの申立て	可決	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案38	印西市道路線の認定	可決	欠	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
再議27-1	平成27年2月12日に可決された「発議案第2号告発について」に対する再議	先の議決とおり決定	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○
再議27-2	平成27年2月12日に可決された「発議案第3号告発について」に対する再議	先の議決とおり決定	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	×	○	○	○	○

番号	件名	議決結果	渡邊 正一	小川 義人	松本 多一郎	山田 喜代子	板橋 睦	金丸 和史	軍司 俊紀	上條 公司	山本 清	松尾 榮子	藤代 武雄	橋本 和治	中澤 俊介	許嶋 義行	近藤 瑞枝	國嶋 久善	小川 勇	大塚 輝男	海老原 作一	岩崎 成子	雨宮 弘明	浅沼 美弥子		
《議案》(市長提出議案)																										
再議27-3	平成27年2月12日に修正可決された「発議案第5号会派「市民」所属山本清議員の調査妨害に関する決議について」の再議	先議の議決あり	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
再議27-4	平成27年3月12日に修正可決された「議案第35号平成26年度印西市一般会計補正予算(第8号)」の再議	先議の議決あり	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
再議27-5	平成27年3月12日に修正可決された「議案第36号平成27年度印西市一般会計補正予算(第1号)」の再議	先議の議決あり	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議26-13	「印西市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例」第5条の(3)及び第2項の削除に関する請願	採択	○	退	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
《議案》(議員提出議案)																										
発議1	地方自治法第176条第5項の規定による審査の申し立てに対する弁明書の提出	可決	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
—	政務活動費等調査特別委員会調査報告書	可決	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議2	告発(被告発人 雨宮弘明 議員)	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議3	告発(被告発人 山本 清 議員)	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議4	会派「みんなの党クラブ」國嶋久善議員に対し政務活動費の返還を求める決議	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議5	会派「市民」所属山本清議員の調査妨害に関する決議	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議6	印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議7	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議8	印西市議員報酬等の特例に関する条例の制定	可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議9	印西市議会議員の費用弁償の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

発議案

▼第1号 地方自治法第176条第5項の規定による審査の申し立てに対する弁明書の提出について **《可決》**

平成26年第4回(12月)定例議会における再議第262号の議決結果について、市長が違法な議決であったとして、千葉県知事に公正な裁定を求めるもの。
※結果については7ページ下段右に記載

▼第2号 告発について **《可決》**

被告発人(雨宮弘明議員)は地方自治法に基づき設置された政務活動費等調査特別委員会からの出頭要求や記録の提出について、正当な理由なく出頭せず、また、記録の提出もしなかった。
よって、地方自治法第100条第3項に該当するので告発するもの。

▼第3号 告発について **《可決》**

被告発人(山本清議員)は地方自治法に基づき設置された政務活動費等調査特別委員会からの出頭要求や記録の提出について、正当な理由なく出頭せず、また、記録の提出もしなかった。
よって、地方自治法第100条第3項に該当するので告発するもの。

▼第4号 会派「みんなの党クラブ」國嶋久善議員に対し

政務活動費(旧政務調査費)の返還を求める決議について **《可決》**

会派「みんなの党クラブ」國嶋久善議員の政務活動費について、政務活動費等調査特別委員会が調査した結果、使途基準に照らし適切ではない支出であると認定した。
よって、市としては政務活動費の自主返還を促し、これに応じない場合は、法的請求権を行使すべきであるとしたものである。

▼第5号 会派「市民」所属山本清の調査妨害に関する決議について **《可決》**

会派「市民」の政務活動費の用途について、地方自治法に基づき、政務活動費等調査特別委員会を設置し調査することを決議した。
しかし、会派「市民」所属の山本清議員においては自身のブログで事実と異なる表現を行う等、調査を妨害した。

▼第6号 印西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について **《可決》**

市議会の委員会による審査又は調査を行う際の説明員の出席に関する規定のうち、「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に改正するもの。

▼第7号 印西市議会議員の

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について **《可決》**

市議会議員の期末手当について、基準日が6月1日である場合の在職期間を3か月から6か月に変更するとともに、当該在職期間に応じた区分を改正するもの。

▼第8号 印西市議員報酬等の特例に関する条例の制定について **《可決》**

議員の職責及び議会への住民の信頼の確保に鑑み、印西市議会議員が疾病その他の自由により長期間にわたり議員としての職責を果たすことができない場合又は住民の信頼に反する行為をした場合における当該議員の議員報酬及び期末手当について、減額及び停止の特例を定めるもの。

▼第9号 印西市議会議員の費用弁償の特例に関する条例の制定について **《可決》**

議員が公務のため旅行したときの日当を平成27年3月31日まで支給しない特例を定めた条例について、支給しない期間を2年間延長し、平成29年3月31日までとするもの。

陳情

▼千葉ニュータウン21区内の古新田川調節池東側に位置する緑地を樹林地のまま残すことを求める陳情(議員配付)

編集後記

今定例会は、議員任期最終の議会であることから、現在の編集委員会メンバーによる議会だよりの編集は最終となりました。印西市議会では、編集委員は副議長を委員長として3つの常任委員会副委員長および議会運営委員会副委員長の5名で構成され、議会事務局職員と協力し編集を行います。

現編集委員会では、事務局職員とともに2回市町村広報研究会に参加し編集技術の習得に努め、「伝える」から「伝える」広報を目指し、議事の公開を徹底し、レイアウトや見出しの工夫で訴求力を高め努力をしてみたいと思いましたがいかがだったでしょうか。また、議会だより特別号の発行も行い、今、議会ではどのようなことが審議・議論されているのかというようなことも「伝える」広報への一歩であると考えています。

次回の議会だよりは、統一地方選挙後の新しい編集委員会メンバーによる編集となります。新たな編集委員会には、より一層「伝える」から「伝える」広報を目指すことに努めて頂くことを期待し、読んで頂いている市民の皆さまに御礼を申し上げて編集後記といたします。(S・E)

- 委員長 小川 義人
- 副委員長 上條 公司
- 委員 海老原 作一
- 委員 許嶋 義行
- 委員 山田 喜代子